



Noguchi Times

Vol. 23 2018.10.18



一般社団法人野口医学研究所 社員旅行 熱海・箱根にて

CONTENTS

- 『野口ビジネス交流会2018夏』 開催内容報告 p2
- 『第1回 かかりつけ薬剤師の為の振り分け臨床診断学講座』 p3
- 医学教育特別セミナー P4
- John A. Burns School of Medicineとの調印式 P5
- ヒーリエンス村 (W/株)ハイライフケア) との調印式 P6
- 2018年米国臨床研修 選考会のお知らせ P7
- 新商品「イージーリリーフ」のご紹介 P7

『野口ビジネス交流会2018夏』

2018年6月14日(木) 於：野口医学研究所 9階会議室

野口ビジネス交流会2018夏では、中小企業診断士のマーケティング専門家である秋田舞美先生に講演をして頂きました。以下ご報告致します。

『個性を尖らす、営業マーケティング ～自社＆自分を引き立てるセルフ・ブランディング～』



中小企業診断士のマーケティング専門家

秋田 舞美

過剰な顧客主義から脱却し、企業の特徴を煮詰めていく「尖り」型マーケティングを提唱。

千葉商科大学客員講師
高IQ団体 MENSА会員
2018年中小企業診断協会会長賞受賞
2017年中小企業庁長官賞受賞

《主な内容》

マーケティングでは企業とお客様は対等であると言われていています。しかし、今、企業側はお客様目線ばかりを求めています。恋愛もビジネスも相手（お客様）の言うことばかり聞いていては、都合の良い男ならぬ、安さしか取り柄のない都合の良い企業になってしまいます。予想外の刺激を与えられないために、選ばれる理由がなくなっているのです。今、商品や会社が選ばれていない理由は、お客様目線が足りていないのではなく、事業者目線が出来ていないためかもしれません。事業者目線の会社の個性『尖り』が足りていないのではないのでしょうか。

『尖り』は、「強み」の対極の言葉です。商品やお店での「早い、安い、うまい」等は「強み」になり、たくさんあればあるだけ良いものです。対して、『尖り』とは特徴、個性です。「遅い、高い、まずい」も『尖り』になり得ます。実際に、「遅い、高い、まずい」を商品の特徴として価値あるものにし、有名になった会社もあります。

自分の「強み」を積み重ねていく「足し算」は、リピーターに対して効果的ではありますが、マーケティングではありません。新規顧客を確保するには『引き算』が必要になっていきます。たくさんある強みの中からどのような会社像を創り出すのかという特徴の抽出が大切になります。魅力をそぎ落として、尖らせていくことが新規顧客を獲得するためのマーケティングに繋がります。

秋田舞美

~~自分の魅力を
10個あげる~~

↓

10個の魅力を
1個にしぼる！

重要

秋田舞美のマーケティング

秋田舞美

マーケティングの手法

	顧客志向型	尖り型
目線	顧客目線 (顧客志向)	事業者目線 (販売志向)
製品開発	マーケット・イン	(広義の) プロダクト・アウト
目標	理想とする姿がある	共通した 正解はない
着眼点	強み	尖り

顧客目線 ↔ 企業個性

秋田舞美のマーケティング

(秋田舞美先生の資料から一部抜粋)

かかりつけ薬剤師の為の 『振り分け臨床診断学講座』



2018年9月9日(日) 於：野口医学研究所 セミナールーム

2018年9月9日、一般社団法人野口医学研究所セミナールームに於いて、『かかりつけ薬剤師の為の振り分け臨床診断学講座』が開催されました。第1回目の様子について、アンケート結果を一部抜粋してご報告致します。

Q 今回のセミナーで良かった点は？

A 講師が医師！

医師の視点で薬剤師に求めることについて話してもらえたことが良かった。

医師の診断方法を詳しく聞くことができ勉強になった。

日本における医師の診断方法、薬剤師が更に身につけるべきスキルを具体的に教えてもらったことがためになった。



◆第1回目の講師：

米国財団法人野口医学研究所理事長、ミシガン大学家庭医学科臨床助教授の佐野潔先生

A 現場で役立つ診断学！

患者が訴える症状に対しての聞き方、聞くべきことの整理が良かった。

臨床診断のプロセス、臨床診断能力をつける上で、抑えるべきポイントがわかった。

洞察力を身につけていく、病態生理を理解していく等、今後目標とすべきことが見つかった。



◆第1回目セミナー内容：

『臨床薬剤師とPharm.D.』…

地域・患者中心の医療における薬剤師の役割の拡大について

『病歴』

患者の訴えや簡単な身体所見から、臨床診断をどのようにすすめていくかについて

自己紹介・発表等の時間があつたこと、また他社の方とディスカッションを通して交流できたことが良かった。

今後の薬剤師は、患者さんの相談でOTC薬を薦める、また受診の判断について考えられる知識を身につける必要があると感じた。

漠然としていた“かかりつけ薬剤師”の意味が明確になり、将来生き残れる薬局とはどうあるべきか分かりかけた。

A 新しいコミュニティと新しい視点！



Next...

◆第2回目以降のセミナー内容：

野口医学研究所では、今後も以下の予定でセミナーを開催する予定です。ご興味のある方は是非ご参加ください。

- | | | |
|-----|----------------|---------------------------|
| 第2回 | 2018年10月14日(日) | 『バイタルサインの見方』 『簡単な診察による診断』 |
| 第3回 | 2018年11月11日(日) | 『症候学：頭痛』 『症候学：咳』 |
| 第4回 | 2018年12月2日(日) | 『風邪症状』 『アレルギー症状』 |
| 第5回 | 2018年1月13日(日) | 『胸痛』 『腹痛』 |





医学教育特別セミナー開催

2018年10月1日(月) 於：聖マリアンナ医科大学病院 大講堂

2018年10月1日、聖マリアンナ医科大学病院の大講堂にて、トーマス・ジェファーソン大学(Thomas Jefferson University:以下TJU) 医学部副医学部長であるDr. Dimitrios Papanagnouを迎え、医学教育特別セミナーが開催されました。



『The Next Frontier in Medical Education Predicting the Journey Based on What is #Trending ~新メディア時代における将来の医学教育~』



Dr. Dimitrios Papanagnou

現在は、Twitter、Facebook、YouTubeのようなSNSを活用した映像による教育が広まっています。

私はFaculty(指導医)や教育者を育成するためのプログラムとして、スマートフォンのアプリやゲームを活用することを提唱します。従来とは異なる学習方法ですが、ゲームは単なる遊びではなく、明確に物事を伝えるコミュニケーション能力を養い、仕事の効率化を図るための方法を生み出すきっかけをつくる等、学習成果にプラスの影響を与えることができます。



映像によって体験学習したことは、シミュレーションセンターにおけるトレーニングの理解力を高め、実際の臨床現場でも役立てることができます。

セミナー終了時には聖マリアンナ医科大学明石勝也理事長より今後の医学教育に向けて大変役立つ内容であったとのお挨拶を頂き、閉会しました。

懇親会にて



①佐藤隆美先生(米国財団法人野口医学研究所評議員、トーマスジェファーソン大学腫瘍内科教授)②北川博昭先生(聖マリアンナ医科大学病院長)③北村聖先生(米国財団法人野口医学研究所理事、国際医療福祉大学 医学部長)④Dr.Charles A.Pohl(トーマスジェファーソン医学学校副校長 & 医学部長代理) ⑤Dr. Dimitrios Papanagnou(トーマス・ジェファーソン大学 医学部副医学部長) ⑥尾崎承一先生(聖マリアンナ医科大学学長)⑦奈良信雄先生(NPO法人野口医学研究所 理事長、一般社団法人日本医学教育評価機構常勤理事)⑧末永佳文(NPO法人野口医学研究所常務理事、一般社団法人野口医学研究所 社員・代表理事)⑨佐野潔先生(米国財団法人野口医学研究所理事長)⑩伊野美幸先生(聖マリアンナ医科大学医学教育研究教授)⑪大坪毅人先生(消化器・一般外科教授)⑫加藤啓啓先生(聖マリアンナ医科大学医学部長)⑬小島宏司先生(聖マリアンナ医科大学呼吸器外科 大学院准教授)⑭藤谷茂樹先生(聖マリアンナ医科大学救急医学教授)⑮堤大造(一般社団法人野口医学研究所 参与・執行理事)⑯田嶋ティナ宏子先生(聖マリアンナ医科大学医学教育研究 特任教授) 他 若手医師の方々



John A. Burns School of Medicineとの調印式

2018年9月14日（金） 於：ハワイ大学医学部（JABSOM）

米国財団法人野口医学研究所は、“Humanity & Empathy in Medicine”の理念に基づき、医療及び医学教育の更なる発展の為、ハワイ大学医学部（JABSOM）と新規契約を締結しました。

■ Hedges/Izutsu/Asano Project in Humanity and Empathy in Medicine

今回の調印式では、「野口医学研究所」と、University of Hawaiiの医学部である「JABSOM」、「University Health Partners of Hawaii(UHP)」の3者間で執り行われ、ハワイ大学の医学部長であるHedges先生、ハワイ大学 名誉教授のIzutsu先生、当財団名誉理事である浅野の名前に由来し『Hedges/Izutsu/Asano Project in Humanity and Empathy of Medicine』という名のプロジェクトが成立しました。

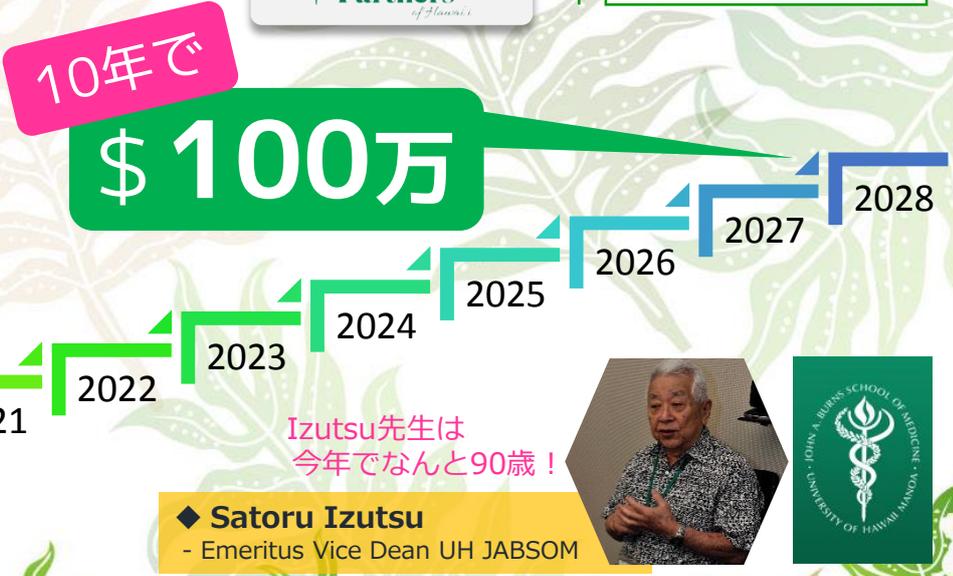


▲【調印式の様子】

■ 契約内容：

- 金額：1million dollar
- 期間：10年間
- 目的：

UHの更なる医学、教育及び研究の発展。また、メディカルサイエンス及び医学教育の中で“患者優先の医療を浸透させること。



ヒリエンス村との調印式

2018年8月24日～26日 於：韓国 江原道洪川郡

一般社団法人野口医学研究所は、韓国のヒリエンス村(w/株式会社ハイライフケア)と業務提携を致しました。8月に行われました調印式についてご報告致します。



▲ 調印式に参加したメンバー

(左から)

- ①株式会社ハイライフケア 李会長
- ②一般社団法人野口医学研究所
創業者・名誉理事 浅野嘉久
- ③ヒリエンス村 村長 イ・シヒョン博士
- ④Spring Dale Golf & Resort株式会社 姜会長
- ⑤SEOJUNG COOKING Seo会長
- ⑥韓国自然医学総合研究院 洪会長



▲ 調印式の様子

ヒリエンス村とは

韓国の江原道洪川にある「ヒルリオンズ・ソン村（ヒリオンスンマウル）」は、標高250メートルの山のふもとに位置し、自然に恵まれた環境の中で正しい生活習慣を学ぶことができるリゾート施設です。

ヒリエンス（Healience）とは、ヒーリング（Healing）とサイエンス（Science）の合成語で、施設では食事・運動・心・睡眠の4大習慣を改善し、自然治癒力と免疫力を高めることで人々を健康に導くことを目的としています。

各部屋にはテレビや冷蔵庫の用意はされず、電波が入らないため携帯を使用することができない環境下で、自然にデジタルデトックスをすることができます。



ヒリエンス村の関係者の皆様と野口医学研究所のスタッフ一同

お食事は、無農薬野菜や減塩キムチ等、玄米ご飯を中心としたヘルシーなメニューです。

その他、施設内にある化粧品、寝具、健康器具、運動用具等、「癒し」に関する物は、ほとんどのものは販売されています。



▲ ヒリエンス村で提供されている食事と「癒し」グッズの陳列。

2018年選考会

開催日時
2018年12月9(日)9:00~18:00



米国で臨床を学びたい医師・医学生を応援します！

米国財団法人野口医学研究所では、米国医科大学及び付属病院での医学研修を希望する医師・医学生を募集します。



研修期間・研修先

医師

3~4週間のエクスターン研修

(有効期限：2019年4月~2022年12月)
※6,7月は除く

- ◆トーマス・ジェファーソン大学
- ◆フィラデルフィア小児病院
- ◆ハワイ大学クアキニ医療センター
クイーンズ医療センター
カピオラニ医療センター等

医学生

1週間のClinical Skills Program

(開催時期：2018年3月中旬から下旬予定)

- ◆トーマス・ジェファーソン大学

詳しい内容については是非お気軽にお問い合わせ下さい。

★応募資格等の詳細はHPをご覧ください→

米国財団法人野口医学研究所

検索

新発売!

塗る グルコサミン

日本柔道整復師
協同組合推奨

国産エミュー
使用



■無臭でサラサラ

原料のエミューは高品質の日本産を使用。独特の匂いも、べたつきもせず、お出かけ前にもすぐ塗れます。

■薬服用中の方でも安心して塗ることが出来る

お薬を服用している方でも、副作用を気にせずご使用頂けます。

EGリリーフ
定価 2,700円(税抜)

全国の薬局・ドラッグストアで10月から順次販売中!



野口英世記念

野口医学研究所

Noguchi Medical Research Institute Since 1983

NOGUCHI TIMES Vol. 23

発行日 2018年10月18日
発行人 浅野 嘉久
編集 〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-12-9
スズエ・アンド・スズエビル 4階
代表電話 03-3501-0130
一般社団法人野口医学研究所
<http://www.noguchi-net.com>
